

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第5回総合計画審議会	
開 催 日 時	平成27年4月14日（火）19時00分～21時00分	
開 催 場 所	宍粟市役所本庁舎 4階会議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	林 昌彦	
委 員 氏 名	（出席者） 林 昌彦、三渡圭介、玉田恵美、 野村和男、森本都規夫、助光隆男、 牲川桂香、本條 昇、岡本幹生、 岡前佳津子、藤木 茂、小林 温、 衣笠萬三、小田奈奈、宮元裕祐、 春名文子、春名千代、田口すみ子、 川原正文	（欠席者） 三渡保典
事 務 局 氏 名	企画総務部：中村部長 企画財政課：名畑次長兼課長、久具山副課長、堀係長、谷本主幹	
傍 聴 人 数	1名	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理 由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 小委員会（第1回目）の開催	
会 議 経 過	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 （記名押印）	（委員長等） _____ ㊟	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	■開会 (議事定足数の確認、傍聴人数の報告、事務連絡)
会長	<p>本日は、できるだけ委員のみなさまに参画をしていただくということで、はじめての試みとして夜間の開催となりました。時間が限られておりますので、さっそく本題に入りたいと思います。</p> <p>お手元に本日の次第がございますが、すでにご案内しておりますとおり、2つの小委員会に分かれての会議となっております。21時過ぎにはこの庁舎を退出できるよう、進めてまいりたいと思います。</p> <p>また、それぞれ分かれて審議をしていただいた後、20時45分を目途に再度集合していただきます。</p> <p>本日、藤木委員より意見票をいただいております。2点あるうちの1点は、指標についてであります。本日の会議の中で、第1次計画の指標について、たくさんのご意見をいただければと思っております。もう1点の体系図の目次化についても、個人的にはよい案であると思っております。最終的な報告書をどのような形にまとめるのかについては、すぐにはお答えできませんが、全体をお示ししてそこでご検討いただければと考えております。</p> <p>前回の会議録については、修正点を整理してお示ししております。</p> <p>それでは、会場が2つに分かれておりますので、事務局よりご説明をお願いします。</p>
事務局	(小委員会の進め方について説明)
A小委員会 副委員長	■小委員会の開催 ○A小委員会：委員長に三渡圭介委員、副委員長に玉田恵美委員が就任。 ○B小委員会：委員長に森本都規夫委員、副委員長に春名文子委員が就任。
	(A小委員会の概要報告) ・農業 人・農地プランの推進について、場づくりを大切にすることが重要であるとの意見がありました。 特産物にもっと力を入れる必要があるのではないかといった議論の中で、各地域で農産物をPRしていますが、まず地域内での消費ルートを確立することが大切ではないか。これは、商業分野の買い物難民への対応にも通じるといった意見がありました。

<p>B小委員会 委員長</p>	<p>地域らしさをもつ産物の推進について、葉わさびや山菜など宍粟市らしい産物を推進していけばよいといった意見がありました。</p> <p>・林業</p> <p>地域の山を守るという意味では、素材生産量を増やさなくてもよいのではないかといった意見がありました。</p> <p>宍粟材をより活用するために、工場誘致が可能か検討していただきたいと思えます。</p> <p>農業と林業で共通する意見として、農地等の活用に対する啓発が重要であり、特に林業については、40年から50年のスパンを見据えていかなければなりません。そのような啓発活動を視野に入れた施策を取り入れるべきであるといった意見がありました。</p> <p>地方創生を掲げる上で、例えば宍粟市が林業を推進していくのであれば、森などの研究を行う全国でも最先端の施設をつくってもよいのではないかとといった意見がありました。</p> <p>すべての計画において、具体性をもったものを総合計画の中に盛り込んでいただきたいと思えます。</p> <p>・商業</p> <p>空き家対策と併せて、空き店舗の活用について考えていただきたいといった意見がありました。また、企業誘致よりも既存の企業を市外に流出させないような施策を検討していただきたいといった意見があり、そのためにも、18歳までのビジネスに強い人材の育成が必要であるといった意見がありました。企業誘致については、将来を見据えて、宍粟市の独自性に合ったものを誘致すべきではないかといった意見がありました。</p> <p>・観光</p> <p>観光プラットフォームの構想をぜひ検討していただきたいといった意見や、どうすれば観光客に楽しんでいただけるかというようなルートづくり、施設の特徴をまとめて情報発信できるように、市役所が先導して行っていただきたいといった意見がありました。</p> <p>個人的な意見としては、4つの分野とも人材育成が大きなポイントになると思えます。地域の中での話し合いや、地域がどのような方向性をもってこれから進んでいくのかについて考えるための場づくりを、市役所で検討していただきたいと思えます。</p> <p>(B小委員会の概要報告)</p> <p>基本方針にある「健やかな育ち」や「健全な育ち」という言葉について、もっとわかりやすい表現の方がいいといった意見がありました。</p> <p>まちづくり指標の出生数について、子どもが減っている社会状況において、現状維持という目標は達成できる見込みはあるのかとの意見がありま</p>
----------------------	--

	<p>した。</p> <p>幼保一元化については多くの意見がでましたが、まとめますと、国の動向に沿うだけでなく、もっと市民といっしょになって丁寧に進めていただきたいといったことであったかと思います。</p> <p>学校の安全ということで、インターナショナルセーフスクールの取組みを進められてはどうかといった意見がありましたが、市としては現状すぐに取り組むということはなかなか難しいといった回答でありました。</p> <p>給食の食材提供について、生産者が高齢化している中ではありますが、農業施策との連携を強化して進めていただきたいといった意見がありました。</p> <p>市内に特別支援学校を設置するといったことを、将来的に計画の中に盛り込んでいただきたいといった意見がありました。</p> <p>子どもの体力づくりについてどう考えておられるのかといった質問や意見がありました。</p> <p>基本構想の「将来の地域構造」で示されているダム機能について、現状では計画と実現性の差を大きく感じているといった意見がありました。</p> <p>このほか、日本や世界から注目されるような魅力ある宍粟市になってほしいといった意見もありました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。小委員会の議論については、改めて表形式にまとめて整理したものを提示したいと思います。委員のみなさまには後日確認をしていただき、両方の委員会の内容を共有しながら全体的に議論していきたいと思います。</p> <p>■閉会</p>
副会長	<p>本日、はじめての夜会ということでしたが、委員のみなさんの出席率もよかったのではないのでしょうか。仕事などいろいろな立場の方もいらっしゃるので、夜会も交えながら進めていきたいと思います。</p> <p>また、本日は初めての小委員会でありましたが、A・B小委員会どちらにおいても、共通している一番大きな問題というのは人口減少であります。</p> <p>宍粟市だけでなく、全国的にも悩まされている問題であります。我々ができることは、減少するスピードを少しでも緩めていくということしかできないと思います。今後も様々な知恵を出していただくようお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

\*発言者の表記は、「会長」、「副会長」、「委員」、「事務局」とする。

なお、会長、副会長の発言で、その任としての発言は「会長」、「副会長」と表記し、いち委員としての発言の場合は「委員」と表記する。